



後期に向けて

入学から早くも6ヶ月がたって、今日で前期も終わりである。前期の主な出来事を挙げるので、自分にとってその出来事の重要さを☆を塗りつぶす感じで振り返ってみよう。

*

4月

- 入学式+自己紹介 ☆☆☆
- 仮入部 ☆☆☆

5月

- 部活・委員会 ☆☆☆
- 遠足 ☆☆☆
- 体育大会 ☆☆☆
- 前期中間考査 ☆☆☆

6月

- 宿泊体験 ☆☆☆
- 合唱祭 ☆☆☆
- 課題研究説明 ☆☆☆

7月

- 校内模試 ☆☆☆
- SSH講演 ☆☆☆
- 手話・切手 ☆☆☆
- 夏山・勝山・合宿 ☆☆☆
- 夏季講習 ☆☆☆
- 星陵祭準備 ☆☆☆
- 夏休み宿題 ☆☆☆

9月

- 宿題テスト ☆☆☆
- 前期期末考査 ☆☆☆
- 星陵祭 ☆☆☆

*

SSHの活動に参加して、それが印象に残った人もいるだろうし、進路関係のイベントに出かけて、そこで何かのヒントを得たという人もいるに違いない。部活の試合が自分に

とって大きな意味をもったという人もいるだろう。上に挙げたのは、ほぼ全員が参加したものに限るので、さらにそこに自分だけの要素も付け加えながら、前期を振り返ってみてほしい。

*

後期になると、大きなイベントはなくなって学習と部活が生活の中心になる。部活については、それぞれ自分の目標をもってしっかり取り組もう。年明けには、2年生が引退する部も出てくる。今までは先輩の背中を追ってきただけだろうが、これからは自分たちが中心となって、次の世代へと部の伝統を受け継いでゆく役割を果たすことになる。責任が重くなる分、面白みも増すに違いない。

一方、勉強の方も本格化する。行事がないから、どんどん授業が進んでいく。今まで以上に予習・復習をしっかりとこなして、日々の授業を身につけてゆこう。前期は行事でクラスの力が試されたが、後期は勉強でクラスの力が試される。不得意な科目のある人は、その科目を得意とする人にどんどん教えてもらうことだ。教えたり、教えられたりしながら、クラス全員で力をつけていくことが後期では大切である。以前にも書いたが、教えることほど勉強になることはない。分かったつもりになっていたことが、いざ人に説明しようとして、実はよく分かっていなかったことが自覚できたりするからだ。そんな「みんなで勉強する雰囲気」をつくるようにしてほしい。そういう積み重ねが、結果として全員の好成績へと結ぶついでゆくのである。後期こそ、13Rの力をみせてほしいものだ。